

（一）昭和32年9月10日(火曜日) 第2211号

常磐毎日新聞

鉄道公舎

代替地既に用意

特別委を設けて促進

常磐の併存住宅

平より一足先に完成

秋の味覚から

食卓の団らんは

藤越

主催 平市

場外券売場 市・郡・市・市・市・市・市

大町

9月 14. 15. 16日 後節

発走11時 小雨決行

常磐毎日

ぜひ実現させたい移轉

平市當局も本腰入れる

代替地既に用意

特別委を設けて促進

常磐の併存住宅

平より一足先に完成



ある。これまどり難がるが、これまでの実現が決まるわけであるが、市當局はすぐおせん立てがわけだ。この実現によりて懸念された商店街の大発展が約束されただけに異してどのような政治的な手をうつかた注目されてしまう。

市當局が正式に取り上げられており、取組むことになった。これが、この実現によりて懸念された商店街の大発展が約束されただけに異してどのような政治的な手をうつかた注目されてしまう。

秋の味覚から
食卓の団らんは

藤越

小名浜

平市

主催 平市

場外券売場 市・郡・市・市・市・市・市

大町

9月 14. 15. 16日 後節

発走11時 小雨決行

主催 平市

9月 14. 15. 16日 後節

主催

親子三代コイの一家

小川の白井さん

海外にも紹介される

小川町上小川の旧家白井一郎さんは、昔からコイの一家として知られているが、このほど国家のコイの飼育状況が「親子三代コイ物語」としてNHKかの國際放送され、海外でも大きな話題となっている。白井さんは飼い白井などの池をはじめ現在最も大きい五寸、重さ四貫以上といふ池の「タロウ」をはじめ約五百尾のマゴイ、ヒゲイなどいるが、いずれも五十年以上という大物ばかり、このコイは第一回会の前後代謝士となり、また裏業人として石城の産業振興につくした白井選手が池をつくつて放したのはじまり、二年目の選手が代謝士や慶工銀行取扱いをつめたが、先代同様の愛魚家三十四の一郎氏も若くころは東

京でいろいろな事業に興味した

がいまは第一線から引退して悠

い生活だが、金魚をかわ

いがことは前二代以上で第

二郎さん(六三)と共に、貢井の一千十七万九千五百円。また穴は二

目目の大レースで一万

九千二百四十円、ナーレース女子で

九の三日間にわたり開催された

が、降雨のためファンも少なく、

三百三十円、ナーレースで一貫

三百三十円、ナーレース女子

三百三十円など中穴も繰出だ。

九レース女子特選で一貫三千

三百三十円など中



淑女夜河を渡る

美しい都会の裏側には

不思議な魔力が秘んでいる

名古屋市——人口百四十万を懷く日本第三位の大

都會——今日も人々この大都會の流れの中に、何か

を求めて進んでくる……。

形身分けの二十万円差手に一族

を抱く日本第三位の大都會——今日も人々この大都會の流れの中に、何か

主家の再興かけて

恋と剣の痛快時代劇

今は昔、弱肉強食

の風潮が世間に醸し出されています。九州菊

介は主家再興の悲

り東映

ふり

は、頭を胸に野武士の悲

きと、お詫びです。九州菊

介は主家再興の悲

り東映